

## 1 歳馬の内視鏡所見と競走成績との関連

門別診療所 柴田 良

今回はセリシーズンということもあり、1 歳馬の内視鏡所見と競走成績との関連を調査した海外の文献を紹介したいと思います。

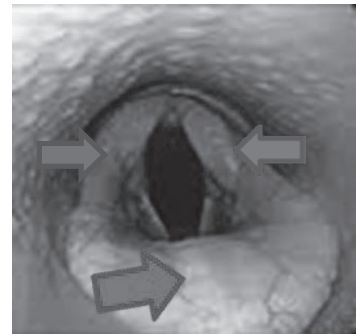
文献では、2954 頭のサラブレッド 1 歳馬の披裂軟骨機能と喉頭蓋形状をグレード分けし、各グレード間で出走回数、合計獲得賞金、1 走あたりの獲得賞金を比較しています。それぞれのグレード分けは以下の表に示しました(表 1.2)。

(表 1) 披裂軟骨機能の評価グレード

G1	披裂軟骨の動きは同調かつ対称で、最大外転、維持できる	
G2	1	一時的な非同調もしくは非対称な動き、最大外転、維持できる
	2	非同調もしくは非対称な動き、時々最大外転、維持できる
G3	非同調もしくは非対称な動き、最大外転できないもしくは維持できない	
G4	披裂軟骨は動かない	

(表 2) 喉頭蓋形状の評価グレード

G0	適度な厚みと長さ、鋸歯状の辺縁
G1	わずかに薄いが適度な長さや質感、辺縁は鋸歯状ではない
G2	長さはあるが更に薄く、辺縁が巻いている
G3	長さはあるが非常に薄く、容易に湾曲する
G4	非常に薄く、明らかに短い、容易に湾曲する



披裂軟骨(上矢印 2つ) 喉頭蓋(下矢印)

### ① 披裂軟骨機能と競走成績との関連

- ・ G1 と G2-1 の間に差はない
- ・ G2-2 は G1、G2-1 と比べ、4 歳時の合計獲得賞金と 1 走あたりの獲得賞金が少ない
- ・ G3 は G1、G2-1 と比べ、3、4 歳時の出走回数、合計獲得賞金、1 走あたりの獲得賞金が少ない
- ・ G3 は G2-2 と比べ、3 歳時の出走回数、合計獲得賞金、1 走あたりの獲得賞金が、4 歳時の出走回数および合計獲得賞金が少ない

**(G1 ≒ G2-1 > G2-2 > G3)**

### ② 喉頭蓋形状と競走成績との関連

- ・ G0、G1、G2 の間に差はない
- ・ G3、G4 は G0~2 と比べ 2、4 歳時の合計獲得賞金および 1 走あたりの獲得賞金が少ない
- ・ 短い喉頭蓋の馬は正常なものと比べ、2、3 歳時の合計獲得賞金と 3 歳時の 1 走あたりの獲得賞金が少ない

**(G0 ≒ G1 ≒ G2 > G3 ≒ G4)**

以上の結果をまとめますと以下ようになります。

- ・ 披裂軟骨機能の G1、G2-1 もしくは喉頭蓋形状 G0~2 の 1 歳馬は上部気道に関しては、他の異常がなければ、同等の運動能力を持つ
- ・ 披裂軟骨機能の G2-2 以下、喉頭蓋形状 G3 以下もしくは喉頭蓋が短い 1 歳馬はレーシングパフォーマンスが低下する可能性がある

少々難しいお話しになったかもしれませんが、少しでも参考にしていただければ幸いです。